

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2023年4月～2024年6月



株式会社 スター精機

今回発行：2024年 7月31日

改訂日：2024年11月15日

次回発行：2025年 7月 (予定)

目 次

1. 事業の概要	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営目標	4
4. 環境経営計画	5
5. 実施体制	6
6. 環境目標の実績・次年度の削減目標	7
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	8
8. 環境負荷低減の取り組み	9
9. 次年度の環境経営計画	10
10. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	11
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	12

1. 事業の概要

- 事業所名: 株式会社 スター精機
- 代表者: 代表取締役 星 正憲
- 所在地: 【本社】〒976-0042 福島県相馬市中村字荒井町46
【工場】〒976-0006 福島県相馬市石上字南蛭沢390
- 環境管理責任者: 管理課 森 弓子
事務局: 管理課 星 恵久子
連絡先: TEL 0244-36-2411
FAX 0244-26-5066
Eメール gyomu@starseiki.jp
- 認証・登録範囲: 全組織
- 活動範囲: 全活動
- 事業活動: 機械部品の製品及び装置の設計・製作

〔主な取引先〕

(国研)宇宙航空研究開発機構
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
(公財)鉄道総合技術研究所
JR東日本
(独)理化学研究所
東北大学
東北大学
北海道大学
九州大学
東京学芸大学
日本大学
株式会社宮城ニコンプレシジョン
株式会社栃木ニコンプレシジョン
株式会社 I H I
株式会社 I H I キャスティングス
株式会社 I H I ジェットサービス
株式会社ダイナックス
株式会社トヤマ
二九精密機械工業株式会社
株式会社多加良製作所
レオン自動機株式会社
株式会社C&A
ニダック精密株式会社

● 事業規模

売上高	29,388万円/年
従業員数	19人
工場延べ床面積	1,658㎡
土地面積	17,200㎡

2. 環境経営方針

【 環 境 経 営 方 針 】

《基本理念》

株式会社スター精機は事業活動の中で主に半導体および航空宇宙分野の設計・製作を担っております。部品共通化や切削量を低減させた設計等によりエコな設計活動を行い、CO2排出の低減に努めていきます。また、昨今のエネルギー価格高騰により弊社における経営環境が非常に厳しい立場にありますが、価格高騰に対応可能な更なる対策を推進していき、地域環境維持と負担低減を行い、環境保全に総力で取り組んでいきます。

《環境経営方針》

1. 事業経営活動に伴う以下の社内の環境負荷の削減に取り組めます。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 産業廃棄物の削減
 - (3) 水の使用量の削減
 - (4) 環境経営を考慮した省エネ、省資源に対応した部品・装置の製造
 - (5) 化学物質使用量の削減
2. 国、地方自治体等の法規等を遵守し、持続可能な地域環境保全活動を目指します。
3. 環境マネジメントシステムを有効運用し、環境保護活動の継続的向上を目指します。
4. この環境経営方針は全ての従業員に周知徹底させるとともに環境経営レポートと併せて社外に公表します。

2024年4月1日
株式会社スター精機
代表取締役
星 正憲

3. 環境経営目標

《環境経営目標》

1. 年度目標（2023年4月～2024年6月）変則期

作成日：2023年4月1日

※目標の対象月は2023年7月～2024年6月

二酸化炭素排出量の削減	「二酸化炭素排出量を2017年度を基準として目標値を6%削減」 136,446Kg-CO2から6%減→目標値128,259Kg-CO2
電力使用量の削減	「電力使用量を過去3年間の売上と電力使用量の実績を基準に 月目標を1000円/kwh以上とする。」
産業廃棄物の削減	「産業廃棄物の排出量を2017年度を基準として6%削減。」 ・一般ゴミ…1,520Kgから6%減→1,429Kg ・金属くず等…9,310Kgから6%減→8,751Kg ・廃油…4,700ℓから6%減→4,418ℓ
水の使用量の削減	「水の使用量を2022年度実績を基準として1%削減。」 225m ³ から1%減→222m ³
化学物質使用量の削減	「化学物質の使用量を2017年を基準として6%削減」 143ℓから6%減→134ℓ
自らが生産・提供する 製品及びサービス	「環境に配慮した素材、省電力化、リサイクル等しやすい製品設計を推進する。」
燃料使用量の削減	「燃料使用量を2017年を基準として6%削減」 ・ガソリン…4,545ℓから6%減→4,272ℓ ・軽油…1,199ℓから6%減→1,127ℓ ・灯油…2,242ℓから6%減→2,107ℓ
紙の使用量の削減	「紙使用量を仕事量を考慮し、年間142,500枚」
グリーン購入の推進(事務用品)	「グリーン調達品の割合を34%以上を目標とする。」

2. 中期目標

2024年～2026年は、電力使用量、紙の使用量は2023年度、水の使用量は2022年度、それ以外は2017年度を基準値とし、各年度を1%ずつ低減とする。

	2024年度	2025年度	2026年度	活動と取り組み
二酸化炭素排出量の削減	126,894Kg-CO2	125,530Kg-CO2	124,166Kg-CO2	
電力使用量の削減	月1100円/kwh以上	月1200円/kwh以上	月1300円/kwh以上	省エネルギーの推進
産業廃棄物の削減	一般ゴミ…1,414Kg 金属くず等…8,658Kg 廃油…4,371ℓ	一般ゴミ…1,398Kg 金属くず等…8,565Kg 廃油…4,324ℓ	一般ゴミ…1,383Kg 金属くず等…8,472Kg 廃油…4,277ℓ	省資源
水の使用量の削減	220m ³	218m ³	216m ³	水道水の節約
化学物質使用量の削減	133ℓ	131ℓ	130ℓ	化学物質使用量の削減
燃料使用量の削減	ガソリン…4,227ℓ 軽油…1,115ℓ 灯油…2,085ℓ	ガソリン…4,181ℓ 軽油…1,103ℓ 灯油…2,062ℓ	ガソリン…4,136ℓ 軽油…1,091ℓ 灯油…2,040ℓ	省エネルギーの推進
紙の使用量の削減	141,075枚	139,650枚	138,225枚	省資源・ペーパーレス化
自らが生産・提供する 製品及びサービス	環境に配慮した素材、省電力化、省資源化等の製品設計を推進する。			省資源
グリーン購入の推進(事務用品)	35%以上	36%以上	37%以上	グリーン購入の推進

4. 環境経営計画

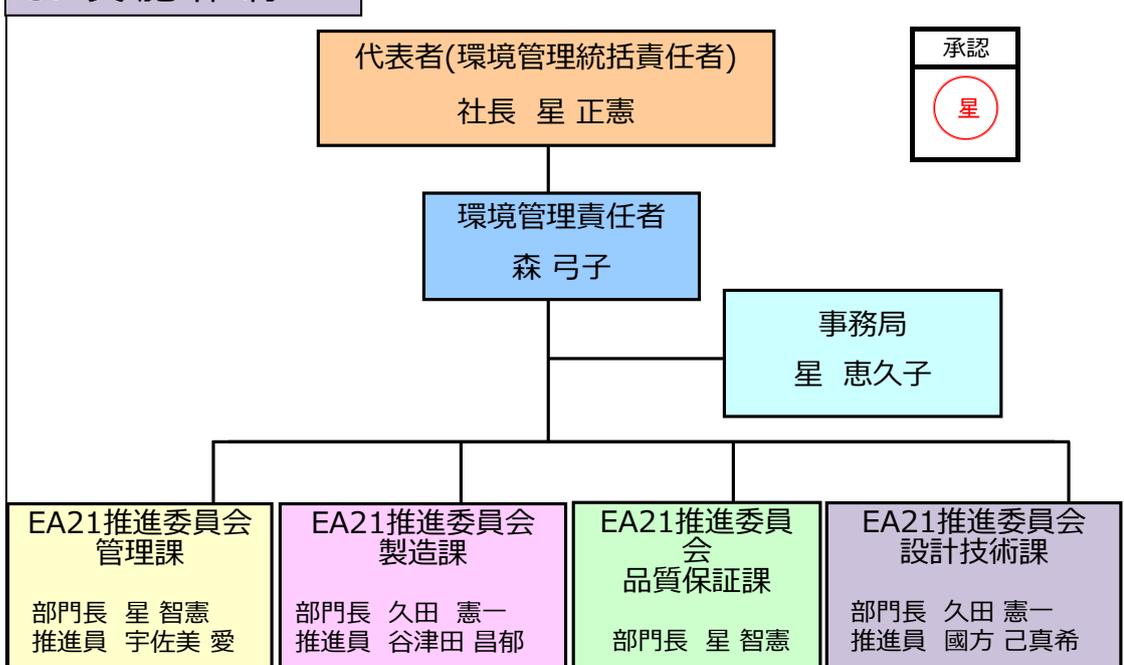
■取組期間：2023年4月～2024年6月まで

■作成日：2023年4月1日

環境目標	活動・取組項目	活動の手段 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所 (どこで)	担当者 (だれが)	実施方法・頻度	
①電力使用量の削減 ②燃料使用量の削減	■省エネルギーの推進	■昼休み・休憩時間の消灯	通年	事務所・工場	天沼・志賀・川勝	・安全を確認して速やかに消灯する	
		■退社時消灯の徹底				・節電呼びかけの掲示	
		■エアコンのフィルター清掃				・作業終了の現場から順次消灯する	
		■よしずの設置・遮熱シートの設置	夏場	7月～3月	各セクション	各セクション	・定期的な清掃をする。
		■エアコンの室内温度の遵守	米澤				・気温が上がってきたら設置する。
		■コンプレッサーの電源を切る					・室内温度を冬は20℃夏は27℃にする
		■IA-漏れの監視と修理	通年	工場	後藤	・使用が少ない時は稼働台数を減らす	
		■機械のアイドル短縮				・IA-漏れが発生した場合速やかに修理をする	
		■低燃費車の導入				・持ち場を離れる時は可能な限り機械を止める	
		■エコドライブの徹底	通年	事務所	若杉	・効率よく納品出来るように無駄な動きをしないルートを選択する	
■定期メンテナンスの実施	・急発進、急加速を避ける						
■ウォームピズの推進	・運用者はアイドルストップの意識向上を図る						
産業廃棄物の削減	■省資源	■不良品の発生を抑える	通年	事務所・工場	久田	・作業前の確認等を十分に行い不良品の削減を目指す	
		■材料歩留まり率の向上・材料の分別				谷津田	・有価物と廃棄物の分別の徹底を図る
		■金属くず分別の徹底					若杉
		■ごみ分別引取りの徹底					
水の使用量の削減	■水道水の節約	■節水の徹底	通年	事務所・工場	宇佐美・久田	・水は出しすぎない様注意しこまめに蛇口を閉める	
		■漏水の調査	12月～2月			・漏水・凍結による事故に注意する。	
			通年			・節水の呼びかけを掲示や口頭でも行う。	
グリーン購入の推進	■グリーン購入の推進	■グリーン購入の推進	通年	事務所	星・森（弓）	・物品購入の際、出来る限り環境物品等を購入する	
							・グリーン購入品の調査と集計及び公表
紙の使用量の削減	■省資源	■情報セキュリティの遵守	通年	事務所	森（弓）・宇佐美	・両面印刷の多用を試みる様呼びかけを行う	
		■ペーパーレス化の推進				・よく確認してからコピーする	
		■FAX機のスキャン機能を活用する				・電子データにて保管可能な書類を選択し用紙のoutputを削減。	
化学物質使用量の削減	■化学物質使用量の削減	■保管場所、量の適正管理の徹底	通年	事務所・工場	森（弓）	・必要以上の持ち出しを無くして行く	
						・揮発性の物はしっかり密閉して保管管理をする	
自らが生産・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	■省資源	■リサイクルしやすい製品を生産する	通年	設計係	古山・國方・橋本・井上	・リサイクル可能な材料を使用する設計をする	
		■製品の環境性能の向上、改善				・環境負荷の少ない製品の開発	
		■省電力を意識した設計をする				・省電力部品の選定	

5. 実施体制

2024.5.1 改訂



【役割分担】

		役割・責任・権限
代表者（社長）		<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・実施体制を構築し、環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・経営に於ける課題とチャンスの整理 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境関連法規制の遵守評価の承認
環境管理責任者		<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの確認
環境事務局		<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境・経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21 推進委員会	部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・部門長を補佐し部門における環境経営計画の実施に向け、取組の推進をはかる。
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

作成	承認
森	星

6. 環境経営目標の実績・取組の結果及び次年度の削減目標

2023年度環境経営目標達成状況（2023年4月～2024年6月）

※目標及び実績は2023年7月～2024年6月の数値として

作成日：2024年6月28日

環境目標	基準値	単位	削減目標 (%)	目標達成			評価	次年度の削減目標	
				2023年度目標値	2023年度実績	達成度合 %			
二酸化炭素排出量	136,446	kg-CO2	-6%	128,259	121,822	-5.02	○	-7%	
エネルギー使用量の削減	電気	1,000	円/KWh	-	1,000	1,087	-	○	1,100円/KWh
	ガソリン	4,545	ℓ	-6%	4,272	1,673	-60.84	○	-20%
	軽油	1,199	ℓ	-6%	1,127	547	-51.46	○	-7%
	灯油	2,242	ℓ	-6%	2,107	555	-73.66	○	使用時 月200ℓ以下
水使用量	225	m ³	-1%	222	205	-7.66	○	-2%	
紙使用量	142,500	枚	-	142,500	93,500	-34.39	○	108,000枚	
グリーン購入の推進	30	%	34%	34%	42%	123.53	○	35%	
廃棄物の削減	一般ゴミ	1,520	kg	-6%	1,429	980	-31.42	○	-7%
	金属くず等	9,310	kg	-6%	8,751	5,596	-36.05	○	-7%
	廃油	4,700	ℓ	-6%	4,418	5,200	17.70	×	5,500ℓ
化学物質使用量	143	ℓ	-6%	134	112	-16.42	○	-7%	
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境に配慮した素材、省電力化、リサイクル等しやすい製品設計を推進する			環境に配慮した活動として今年度から社内のみならず周辺地域の美化活動を実施した。また、急激な温暖化対策として旧工場の汎用設備の移設を実施し、また窓に遮熱シートを貼り付けて省電力化に取り組んだ。			○		

※二酸化炭素排出量の排出係数…第1、3工場 令和4年度東北電力(株)の調整後排出係数 0.496Kg-CO2/kWhにて算出
第2工場 令和4年度オリックス(株)の調整後排出係数 0.522Kg-CO2/kWhにて算出

※電気…売上 ¥ 264,611,564 ÷ 電気使用量 243,241KWh = 1,087円/KWh

7. 環境経営目標・計画の取組結果とその評

作成

承認

森

星

作成日：2024年6月28日

『 エネルギー使用量の削減 』

(1) 電力量の削減

電気量は受注量によって変動があるため、今年度から目標値を【売上金額÷使用量=1,000円/kWh以上】と決めました。電気使用量の意識をはじめ、売上の意識も一層高まるという相乗効果もありました。しかし夏は酷暑が続き、空調の使用が増えた為、夏は目標達成できない月がありましたが窓に遮熱フィルムの使用など新しい取り組みができたことが良かったと思います。

(2) 燃料使用量の削減

ガソリン、軽油、灯油のすべて目標達成ができました。
引き続き使用量の削減を努力しながら、来年度は今より現実的な目標設定にしたいと考えております。

『 水・紙・化学物質の使用量の削減 』

(1) 水の使用量の削減

今年度も目標値を達成することができました。日々節水を心がけながら、次年度も目標達成に向けて進めて行ければと思います。

(2) 紙の使用量の削減

紙の使用量は目標達成できました。大型の受注があると付随した書類も多くなってしまいますが、複数枚印刷する時は両面印刷にして印刷枚数を減らす、『印刷して当たり前』とされてきた印刷物に疑問をもたず、不要な印刷の削減や電子化等の検討を進めていきたいと思っております。

(3) 化学物質使用量の削減

目標達成できました。
来年度は環境や健康に配慮した植物性のアルコールに変更してみようと計画しております。

『 産業廃棄物の削減 』

(1) 金属くず・廃油・一般ゴミ等の削減

一般ゴミや金属くずは目標達成できましたが廃油が目標達成できませんでした。
要因としては、新たな機械の導入で油の使用量が増えたためです。
来年度はこの結果を考慮し、目標設定をしたいと思っております。

『 グリーン購入の推進 』

(1) グリーン購入品の推進

目標は達成出来ています。引き続き購入する際には環境を考慮し、必要性を考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んでいきたいと思っております。

取組結果の総評と次年度の取組について

今年度はほぼ目標達成できた1年でした。

節電や、産業廃棄物の仕分け、全従業員での美化活動を行うなど会社全体でのエコ活動の意識が強くなり毎日の積み重ねの結果だと感じております。

しかし、目標設定が現実離れしている項目があるので来年度は今年度のデータをみながらしっかり設定していきたいと思っております。

8. 環境負荷低減の取り組み

エネルギー使用量の削減 暑さ対策（よしず・遮熱シート）

エアコンと扇風機を併用しエネルギー使用量の削減と暑さ対策に努めてきましたが、猛暑日が続きエネルギー使用量増加傾向でした。
例年通り、よしずの設置に加えなかなか室内温度の下がらない第一工場窓ガラスに遮熱シートを貼りエネルギー使用量の削減と暑さ対策を実施しました。



環境保護 全従業員での美化運動

全従業員で会社敷地と会社前の歩道のゴミ拾いを実施しました。
美化運動をする事でゴミがなくなるだけでなく、従業員のエコ意識が高まる良い機会になりました。



9. 次年度の環境経営計画

環境目標	活動・取組項目	活動の手段	該当場所	担当者	実施方法	次年度の取組	
二酸化炭素排出量の削減 電力使用量の削減	■省エネルギーの推進	■昼休み・休憩時間の消灯	事務所 工場	各セクション	・安全を確認して速やかに消灯する	取組継続	
		■退社時消灯の徹底			各セクション	・節電呼びかけの掲示	取組継続
		■エアコンのフィルター清掃		各セクション	・作業終了の現場から順次消灯する	取組継続	
		■エアコンの室内温度の遵守		各セクション	・定期的な清掃をする。	取組継続	
		■コンプレッサの電源を切る	工場	各セクション	・室内温度を冬は20℃夏は28℃にする	取組継続	
		■IA-漏れの監視と修理		各セクション	・使用が少ない時は稼働台数を減らす	取組継続	
		■機械のアイドル短縮		各自	・IA-漏れが発生した場合速やかに修理をする ・持ち場を離れる時は可能な限り機械を止める	取組継続	
燃料使用量の削減		■ガソリン使用量の削減	事務所	若杉	・効率よく納品出来るように無駄な動きをしないルートを選択する	取組継続	
		■エコドライブの徹底			・急発進、急加速を避ける	取組継続	
					・運用者はアイドルストップの意識向上を図る	取組継続	
		■灯油使用量の削減	工場		・室内温度を遵守し、灯油使用量の削減を図る	取組継続	
産業廃棄物の削減	■省資源	■不良の削減	事務所 工場	久田	・作業前の確認等を十分に行い不良品の削減を目指す	取組継続	
		■材料歩留まり率の向上			谷津田	・有価物と廃棄物の分別の徹底を図る	取組継続
		■金属くず分別の徹底		若杉		・種類ごとに分別するよう徹底する	取組継続
		■ごみ分別引取りの徹底					
		■資源ごみ分別の徹底					
■材料の分別							
水の使用量の削減	■水道水の節約	■水道水の節約	事務所 工場	林・久田	・水は出しすぎない様注意しこまめに蛇口を閉める	取組継続	
		■漏水の調査			・漏水・凍結による事故に注意する。	取組継続	
					・節水の呼びかけを掲示や口頭でも行う。	取組継続	
グリーン購入の推進	■グリーン購入の推進	■グリーン購入の推進	事務所	星・森（弓）	・物品購入の際、出来る限り環境物品等を購入する。	取組継続	
					・グリーン購入品の調査と集計及び公表	取組継続	
紙の使用量の削減	■省資源	■情報セキュリティの遵守	事務所	全員	・尚面印刷の多用を試みる様呼びかけを行う	取組継続	
		■ミスコピーの削減			・よく確認してからコピーする	取組継続	
		■FAX機のスキャン機能を活用する			・電子データにて保管可能な書類を選択し用紙のoutputを削減。	取組継続	
化学物質使用量の削減	■化学物質使用量の削減	■化学物質使用量の削減	事務所 工場	全員	・必要以上の持ち出しを無くして行く	取組継続	
					・揮発性の物はしっかり密閉して保管管理をする	取組継続	
自らが生産・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	■省資源	■リサイクルしやすい製品を生産する	設計室	古山・國方・橋本	・リサイクル可能な材料を使用する設計をする	取組継続	
		■製品の環境性能の向上と改善			・環境負荷の少ない製品の開発	取組継続	
		■省電力を意識した設計をする			・LED等の省電力部品の選定	取組継続	

10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

作成日: 2024年6月28日

法令の名称・主な要求事項	遵守状況
環境基本法 第8条 ・自然環境の適切な保全等や製品等の廃棄物の適正な処理を行なうこと	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第11条 ・事業者は、産業廃棄物を自ら処理しなければならない。	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第12条 ・産業廃棄物が運搬までの間、保管基準に従い、保管すること。	○
福島県生活環境の保全等に関する条例 第6条 ・県は、県、市町村、事業者及び県民が、それぞれの役割に応じて廃棄物の減量及び再生利用を含めた廃棄物の適正な処理を行うことを促進するための指針を作成し、その普及及び啓発に努めるものとする。	○
福島県生活環境の保全等に関する条例 第62条 ・工場等騒音規制基準の遵守義務	○
福島県生活環境の保全等に関する条例 第71条 ・建設作業に関する騒音の規制（建設作業騒音規制地域）	○
福島県生活環境の保全等に関する条例 騒音規制法 ・敷地境界における騒音規制値の遵守	○
相馬市環境基本条例 第5条 ・事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害の防止はもとより、自然環境を適正に保全するため、積極的に必要な措置を講ずる責務を有する。	○
相馬地方広域市町村圏組合火災予防条例 第30条 ・指定数量の1/5（200L）以上の危険物を貯蔵する場合には、消防署長に届出が必要。	○
グリーン購入法 第5条 ・事業者及び国民は、できる限り環境物品等を選択する。	○
労働安全衛生法 第12条の2 ・安全衛生推進者等について	○
浄化槽法 第11条 ・毎年1回、指定検査機関による水質に関する定期検査を受ける。	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 第16条 第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項。	○

※環境事務局が、6月28日現在の環境関連法規の遵守状況について確認し、環境関連法規に違反がないことを

確認しました。

また、自社で取り扱う化学物質の和名、問題はないと見られる。また過去の年間において1行政機関からの環境関連法規の指摘はなかった。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

作成日：2024年7月1日

項目	参考資料	代表者（代理）による全体の評価	
環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷の自己チェックの結果 ・環境への取組の自己チェックの結果 	<p>昨今の防衛費の増額により、今まで防衛関連の開発を行ってきた装置や治具が、急遽量産体制に切り替わり新たな柱として起動に乗り始めてきた。その為、工作機械もフル稼働し対応している為、高騰している電力に対し、毎月のエコアクションの活動で全社を挙げてより生産性を高める活動をするように意識づけをおこなっている。一方で今年は温暖化の影響により特に古い建屋である旧工場での汎用設備の稼働が今まで以上に困難になってきている。その為、主要設備を新棟に移設し、更に窓については遮熱シートを全面的に貼り、業務用エアコン等の電力コストおよびCo2の削減に努めている。今後は地震についても懸念しており避難訓練の方も強化していきたいと考えている。</p>	
環境目標及び環境活動計画の策定			
環境関連法規等の取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規などの取りまとめ表 ・環境関連法規などの遵守状況の結果 		
実施体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制(組織図等) 		
実施及び運用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システム ・環境経営目標 ・環境経営計画 		
教育・訓練の実施			
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営レポート ・外部からの苦情などの受付状況及び対応結果 		
環境上の緊急事態への準備及び対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策 		
取組状況の確認及び問題の是正	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果 		<p>見直しの項目と変更の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ・環境経営目標 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ・環境経営計画 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ・環境管理システム 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ・実施体制 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
環境関連文書及び記録の作成・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連管理文書ファイル 		
前回の指示事項に対する報告	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点の是正処置及び予防処置の結果 		